

## 正誤表

## 2019年度版 合格革命 行政書士 基本テキスト

本書において下記の通り誤りがございました。

内容を訂正すると共に、読者の皆様にご迷惑をおかけしたことを、深くお詫び申し上げます。

恐れ入りますが、本正誤表をご確認の上、ご利用いただきますようお願い申し上げます。

早稲田経営出版

ページ	誤	正
309	最重要判例 故障者の放置 <span style="border: 1px solid black;">結論</span> の下 —	<span style="border: 1px solid black;">判旨</span> ※ <span style="border: 1px solid black;">判旨</span> との記載漏れ
339	最重要判例 判旨 上から7行目 のの、①又は②の観点からは～	のの、①又は②の観点からは～
377 (376)	側注 ※7 抜け	※7 記述対策 第三者が錯誤による無効を主張するための要件は、書けるようにしておこう。
458 (459)	側注 ※3 抜け	※3 具体例をイメージ 例えば、コンビニで弁当を買ったところ、この弁当が腐っていて食べられなかった場合などである。
641	本文 上から3～4行目 監査役は、当該会社とその子会社の取締役・使用人・ <u>会計参与</u> 、子会社の執行役を兼ねることはできません (335条2項)。	監査役は、当該会社とその子会社の取締役・使用人、子会社の <u>会計参与</u> ・執行役を兼ねることはできません (335条2項)。
646	本文 下から9行目 ～役員等の第三者に対する損害賠償請求権	～役員等の第三者に対する損害賠償責任
<b>658</b>	本文 上から1行目 ～の5分の1 <u>以上</u> の場合)～	～の5分の1 <u>を超える</u> 場合)～

※ページ数が**太字かつ斜体**になっている箇所が今回の更新での追加箇所になります。

以上